

広島テレビのドキュメンタリーが 「第63回ギャラクシー賞<奨励賞>」を受賞

広島テレビ放送株式会社(本社:広島市東区 代表取締役社長:今村司)が制作し、2025年5月11日に放送したNNNドキュメント'25『パンプキン爆弾 原爆と49発の極秘投下訓練』が、**第63回ギャラクシー賞<テレビ部門 奨励賞>**を受賞しました。ギャラクシー賞は放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を目的として1963年に創設したもので、テレビ・ラジオ・CMと報道活動の4部門から構成されます。本作品は、アメリカが原爆投下を成功させるためにパンプキン爆弾を作り、日本で投下訓練を行っていたことや、当時の資料・証言をもとに米軍の極秘戦略に迫ったドキュメンタリーです。



広島テレビは開局以来、原爆被害と平和の大切さを伝えるドキュメンタリー番組を制作してきました。被爆80年の2025年は、国際的に核の脅威が高まる中“過ちを二度と繰り返してはいけない”と年間を通じて「NEVER AGAIN～つなぐヒロシマ 被爆80年～」キャンペーンを展開。本ドキュメンタリーなど数々の作品や取り組みを世界に発信してきました。その中で、今回の受賞のほか、2025年4月27日放送のWATCH『テニアン』が2025年日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビ報道番組<優秀賞>、2025年8月3日放送のNNNドキュメント'25『NEVER AGAIN 覚悟 ヒロシマから世界へ…』がヤング映像クリエイターを励ます賞<第3回 地方局賞>、原爆で犠牲となった広島二中321人の記録をもとにした『漫画いしぶみ』が日本漫画家協会賞 大賞<萬画部門>を受賞しています。

被爆者の平均年齢が86歳を超え、被爆体験を直接聞く機会が年々少なくなっています。だからこそ、広島テレビは被爆地ヒロシマの声と思い、当時の記憶や記録を見つめ直し続けます。これからも平和の尊さを全国、そして世界へ発信していきます。

本リリースに関するお問い合わせ先
広島テレビ放送 編成戦略局 編成戦略部 (担当:長野・山本)
TEL:082-207-0409
E-mail:senden@htv.jp

